科目コード	R24212	科目名	理学療法評価学演習Ⅰ				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	石倉　英樹・中川　敬汰						
授業の概要	理学療法評価について、徒手筋力検査法の実技・手法を中心に学習する。						

DPとの関連		
	①慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている	ー
	②理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている	ー
	③生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている	ー
	④理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている	ー
	⑤地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている	ー
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	筋力測定の目的や実施方法を、説明し、実施ができる。 代償動作を理解し、配慮して筋力測定をすることができる。 筋力評価を行った結果より統合と解釈を体験する。
履修上の注意事項	実習に適した服装（ケーシー、ジャージ、短パン、ポロシャツなど）で参加すること。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション、理学療法評価の基礎 ・筋力測定に関する基礎知識、評価の事前に行う情報収集【石倉】	理学療法評価における心身機能-身体構造について復習しておく。（60分）
2	徒手筋力検査法（頚部～体幹）① ・頚部の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	頚部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
3	徒手筋力検査法（頚部～体幹）② ・体幹の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	体幹の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
4	徒手筋力検査法（上肢）①　・肩甲帯の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	肩甲帯の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
5	徒手筋力検査法（上肢）② ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（前半）【石倉】	肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
6	徒手筋力検査法（上肢）③ ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】	肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
7	徒手筋力検査法（上肢）④　・肘関節- 前腕の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	肘関節-前腕の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
8	徒手筋力検査法（上肢）⑤　・手関節- 手指の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	手関節-手指の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
9	徒手筋力検査法：頚部～上肢まとめ ・頚部～上肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】	頚部～上肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分）
10	徒手筋力検査法（下肢）① ・股関節の筋力検査に関する方法の実技(前半）【石倉】	股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
11	徒手筋力検査法（下肢）② ・股関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】	股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
12	徒手筋力検査法（下肢）③　・膝関節の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	膝関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
13	徒手筋力検査法（下肢）④　・足関節- 足趾の筋力検査に関する方法の実技【石倉】	足関節・足部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分）
14	徒手筋力検査法：下肢まとめ　・下肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】	下肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分）
15	筋力測定に関する応用的知識 ・疾患に関する筋力評価、統合と解釈の実践【石倉】	臨床場面で行う徒手筋力検査についてイメージしておく。（60分）

成績評価方法	実技試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	新・徒手筋力検査法　原著第10版（共同医書出版）	978-4-7639-0041-8
参考書	理学療法評価学　第6版補訂版（金原出版）	978-4-307-75068-4

教員からのメッセージ	筋力評価は、身体の構造についての知識が不可欠であり、特に解剖学（骨格筋と支配神経）についてはよく復習しておくと良い。 また、実技に際して触診技術も必要となるため、復習しておくと良い。
教員との連絡方法	オフィスアワーを活用すること
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、理学療法評価（筋力評価）について、実技を行う。